

ルーキー2人が躍動！！



センターバックで開幕フル出場を果たした嶋谷(写真左)

◆「緊張はしていた」一。試合後、そう言って安堵の表情を浮かべたのは嶋谷。ヘディングとインターセプトを得意とするルーキーは、主将・三澤の相方に抜てきされ堂々たるプレー見せた。競り負ない強さをデビュー戦から発揮し、その存在感をアピールとともに冷静に自分の課題点も見つめている。自己評価は40点と、厳しくつけたが、「もっと体力をつけたい」など向上心は計り知れない。無失点に貢献した新星の今後に期待がかかる。

◆もう一人、開幕から大暴れをしたルーキーがいる。走力に絶対の自信を持っている中村だ。64分に得たフリーキックを右足で直接沈め開幕ゴールを挙げると、その後も足を止めることなく、ダメ押しの追加点を。2得点の活躍で激戦区のポジション争いに頭角をあらわした。以下、得点シーンを振り返る・・・↓↓

得点シーンを
フィードバック

Manager Comment

(今日は)全体的にはよくなかった。インフルエンザなどアクシデントが多くあって、初めて開幕から一年生を2人使った。中村は確井や板倉の代わりとしてでも十分に期待が出来る。嶋谷もやればやるだけよくなると思う。よくやっていた。相手はボール回しがうまかった。中盤の底がきっちり出来ればよかったのだが、水野もまだ形にはまったばかりなので難しいところ。とにかく勝てたことは収穫。精神的にも大きい。

(前半、前で収まっていなかったが)実力はあの程度。このままではちょっと厳しいという印象がある。前半戦は勝ち点を重ねて、いろいろな選手を使ってみて、夏の総理大臣杯には固めていきたい。今はワントップにしているが強いフォワードがないので、ボールを早く回すことから意識している。早さの次に正確さ、そして質を求めている。それが今年のうちに出来ればいい。今年の両サイドは平野などドリブラーが多い。外からえぐることも出来るので、選手同士がもっと意識的に話し合おうまくやってほしい。

(今後に向けて)来週は確井も出れる。うえていると思うのでうまく使ってやりたい。一つ一つ勝っていく

(紙面編集：佐藤 亮)

中村 駿が2得点!

1点目 64分

前線で思うようにボールが収まらず、硬直状態が続いて迎えた64分。湯澤のドリブルから絶好の位置でフリーキックを得ると、ボールを置いたのは中村だった。得意な位置だけに「蹴らせてください」と自ら志願。右足から放たれた球は、相手キーパーの動くことの出来ない絶妙なコースに吸い込まれネットを揺らした。



キッカーを話合う田中(左)と中村

2点目 87分



冷静に2点目を決めた中村



怪我から復帰し1アシストの湯澤

この日、会場のボルテージが最も上がったのは86分のことだった。湯澤がゴール前でボールをキープ。シュートの選択肢もあったが、選んだのはパスだった。「狙っていた」相手の股をきれいに通すと、そこに走り込んでいたのは先制点を挙げた中村。冷静にインサイドに当たると、これが試合を決めつけるダメ押しに。体調不良者が続出するなか得たチャンスで、2得点という最高の形で締めくくった。